



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



### 「ジブリ」って何？

誰もが知っているスタジオジブリ、でも「ジブリ(ghibli)」ってどういう意味なのだろう。

ジブリはイタリア語で「サハラ砂漠に吹く熱風」という意味だ。第二次大戦中にイタリアが採用していた偵察機・爆撃機の名前でもあり、航空機マニアの宮崎駿氏がこの名前をスタジオ名に採用したのである。アニメ界に「熱風」を巻き起こそうという思いを込めたという。

### アマゾン(社名の由来など)

アマゾンは創業して25年ほどだが、今ではマイクロソフト、アップルと世界時価総額ランキングトップ3社を争う超巨大企業に成長した。



アマゾンの社名は世界最大の流域面積を有する「Amazon(アマゾン川)」のように、自らの会社が広大なシェアを得られるようにとの願いを込めて付けられたのはよく知られている。ただ、この「アマゾン」という言葉そのものは、創業者のベゾス氏が、社名・ショップ名が一覧表示された際に ABC 順で並べられることが多いのに着目し、「A」から始まる社名・ショップ名にしようと辞書をチェック、その中から「アマゾン」を選択したものである。

なお、ロゴの矢印が「a」から「z」に伸びているのは、アマゾンには、「a」から「z」、つまり全ての商品が揃っていることを意味している。



### 「トヨタ」と「トヨタ」

日本を代表する企業、トヨタ自動車の創業者は豊田喜一郎(現社長章男氏の祖父)だが、苗字の読みは「トヨダ」と濁って読む。創業当初はトヨダだったのである。英語では「TOYODA」、エンブレムは「豊田」を使用していた。

しかし、「トヨタ自動車 75 年史」によると、昭和 11 年 10 月から「トヨタ」表記に変更したとのこと。その理由として、①商業美術的に見て、濁点を付けないほうが、さわやかであり、言葉の調子(音の響き)も良い、②画数が8で縁起が良い、③豊田という人名から離れることにより、個人的企業から社会的存在への発展の意味を含める、を上げている。

なお、本社のある豊田市は以前は挙母市だったが、昭和 34 年 1 月に現市名に改名されたものだ。ただ、現在でも挙母小学校、挙母神社、新上挙母駅など「挙母」という名は豊田市内に残っている。

(追記)市名変更については、賛成と反対が市を二分するほどの議論となったが、挙母市が全国有数の「クルマのまち」に成長したことと、由緒ある地名とはいえ「挙母」が読みにくいという点から(加えて、長野県の小諸と混同されることもあった)、結局は変更されることになったのである。

### 渋谷のロープウェイ

現在再開発が急ピッチで進んでいる渋谷駅周辺だが、かつて、渋谷駅・ハチ公口の上空にロープウェイが通っていた、という「えっ-----嘘!」と言われそうだが事実である。

既に解体された東急東横店旧東館の屋上と玉電ビル(現在の東急百貨店東横店西館)を結ぶもので、「ひばり号」という名前で、昭和 26 年 8 月に開通した。車体は黄色とオレンジ色のツートンカラーの流線型車体で、車内はケーブルカーのように階段式になっていた。

全長 75m で定員は 12 名、子ども限定だった。しかし、残念ながら近くのビル建設工事によって 2 年後の昭和 28 年には廃止を余儀なくされてしまった。

(写真)今から 67 年前、昭和 27 年 1 月当時のロープウェイと渋谷駅界限



### 人種差別の原点はモンテスキュー(?)



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

今年には第一次世界大戦後のパリ講和会議から100年になる。この会議において日本が世界で初めて「人種差別撤廃法案」を提案したことはよく知られている。しかし、11対5の多数決で可決されるかと思われたこの法案は、議長国であったアメリカのウッドロー・ウイルソン大統領の「こうした重要法案は全会一致でなければ認められない」の一言で否決されてしまった。白人優位主義が根強かった当時、人種差別を撤廃することは至難の業だったのである。

こうした人種差別の原点には、(個人的見解ではあるが)モンテスキューにあるように思えてならない。フランスの著名な哲学者であるモンテスキューは代表的な著書「法の精神」(1748年)の中で「旧約聖書に出てくる人間は白人のみであって、黒人やモンゴロイドを人間と考えるのは不可能である」と記述している。

### 信濃川(と千曲川)

信濃といえば長野県のことだ。しかし、日本一長い川として知られる信濃川は、長野県内を流れてはいない。川は源流から河口までの間に名前が変わることが多く、信濃川の場合は、甲武信ヶ岳を源流とし、長野県内では千曲川の名で流れ、新潟県に入ると信濃川と呼称が変わる。全長367kmのうち、信濃川と呼ばれる部分が153kmなのに対し、千曲川と呼ばれる部分は214kmと千曲川の方が長い。ただ、河川法上では千曲川を含めた信濃川水系の本流を信濃川と規定しているため、信濃川は日本で一番長い川になっている。